

第42回 麻里府地域ふれあい 納涼盆踊り大会

8月14日(月)
19時から第42回麻里府地域ふれあい納涼盆踊り大会が麻里府グラウンドで4年ぶりに開催されました。台風6・7号の進路が心配でしたが、開会式前には東の空に虹が出て盆踊りの開催に花を添えて



くれました。当日は400名以上の来場者があり、開会前から婦人会や嵯峨音頭保存会の出店に列をなしていました。来賓の方々も多数お越しいただき、開会式では東町長さんにご祝辞をいただきました。その後、嵯峨音頭保存会の東会長より、太鼓を継承してくれている8名の若人に感謝状が手渡され、今後の担い手として非常に頼もしさを感じました。その後は、婦人会の皆さんが踊りを先導され、多くの来場者が麻里府音頭や嵯峨音頭を踊りました。踊りの休憩時には、子ども花火が開催され、美しくもあり可愛らしい花火を多くの子ども達が楽しみました。また、盆踊り最後には恒例の空くじなしの福引きがあり、各自が1等から4等までの商品をもって、家路につきました。最後になりましたが、暑い中、「亡くなられた方々のご供養になる」また「来場された方々に喜んでいただく」盆踊りにしようとして数週間前から計画・準備をされてきた各方面の方々に感謝を申し上げます。また、当日ご来場いただきました方々へお礼を申し上げます。ありがとうございました。



空くじなしの福引き大会



子ども花火大会



飲み物引換券でジュースと交換



嵯峨音頭保存会長より感謝状を授与



大盛況の出店の様子

潮騒

発行

田布施町大字
別府 1610 番地
麻里府公民館
TEL・55-5237

麻里府地域懇談会

演題 『大いに笑い楽しく学ぶ』 ～人を思いやるコミュニケーション～

講師 由宇亭拓の輔
(塚田拓司さん)



麻里府地域懇談会が、令和5年7月15日(土)10時から麻里府公民館で開催されました。今年度は、由宇亭拓の輔さん(塚田拓司先生)に来ていただき、懇談会の演題を「大いに笑い楽しく学ぶ！～人を思いやるコミュニケーション～」

として講演をしていただきました。前半の30分は、演題のとおり楽しい落語を披露していただきました。笑い声が絶えない講演でした。後半は、プロジェクターを使用し、「コミュニケーションは言葉のキャッチボール、相手の心情を大切に言葉の受け止めや投げかけが大切になる」とのお話でした。塚田先生は、長年教職に就いておられ、生徒との関わりを通しての具体的なお話であったので、説得力のある分かりやすいお話でした。今後においても、人間関係を大切にしながら、明るい地域づくりに貢献していきたいと感じました。

盆踊り大会に向けて嵯峨音頭保存会が太鼓と音頭口説きの練習を実施

盆踊りを控え、練習にも毎回毎回熱が入っていました。盆踊り数週間前より会議や太鼓の練習、口説きの練習が実施されていました。太鼓の練習には、小学生や中学生が口説きに合わせて太鼓を叩いていました。地域の大きな行事に子ども達が、積極的にかかわり伝統文化を継承している姿を見て素晴らしいと感じました。また、その姿を温かく見守る大人が周りにおられ、正に地域で子どもを育て、伝統文化を継承していく環境がありました。



埋蔵文化財巡回展

『大波野字納蔵なぐらの古墳展』

期間：9月19日(火)～10月2日(月)
会場：麻里府公民館ロビー

上記の日程で、田布施町埋蔵文化財巡回展示が行われます。是非、公民館へお立ち寄り下さい。

9月の行事予定

9月27日(水) 9:00～

生きがい教室

